

(15) 勾玉

1 活動の目的、効果

(1) 体験活動上の効果


◎自主性・創意工夫 ○阿蘇の文化に親しむ ○課題克服・達成感

(2) ESDの課題解決に必要な7つの能力・態度

⑦ 進んで参加する態度

集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を理解するとともに、ものごとに主体的に参加しようとする態度

2 活動の詳細



概要 (セールスポイント)	<p>直方体の石を、紙やすりで磨きながら、自分の好きな形にデザインするなど、オリジナリティが発揮できる活動です。黙々と活動するのも、このプログラムの特徴です。</p> <p>世界に1つだけ、オンリーワンの勾玉が出来上がります。</p> <p>そもそも、「勾玉とは何か」の解説を加えることで、日本の歴史や文化にも触れることができます。</p>				
諸条件	実施形態	自主活動		提出書類	食事・教材注文票 (材料の注文)
	必要経費	特定研修活動実施経費(1人50円) +材料費(1人390円)		所要時間	1.5~2時間程度
	活動場所	研修室		対象・人数	小学校低学年以上、最大250人
	時期	通年	事前下見 不要	天候	全天候
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物	
	・新聞紙 ・雑巾	・糸のこ ・バケツ 等		【参加者】 【指導者】	・筆記用具 等 ・勾玉セット (購入)
役割分担	青少年交流の家職員が行うこと			団体の引率者が行うこと	
	<p>1 道具の準備をし、引率者(担当者)への説明を行う (活動開始30分前までに)</p> <p>① 貸出物品について ② 活動の進め方について ③ 安全管理について ④ 活動後の片づけについて</p> <p>4 貸出物品を受け取る</p>			<p>1 交流の家職員から説明を受け、貸出物品を受け取る (活動開始30分前までに)</p> <p>2 売店で材料を購入する 3 準備から片付けまでの指導を行う 4 貸出物品を返却する</p>	

3 活動のふりかえりのポイント

視 点:「楽しんで、仲間と協力して活動することができたか。」

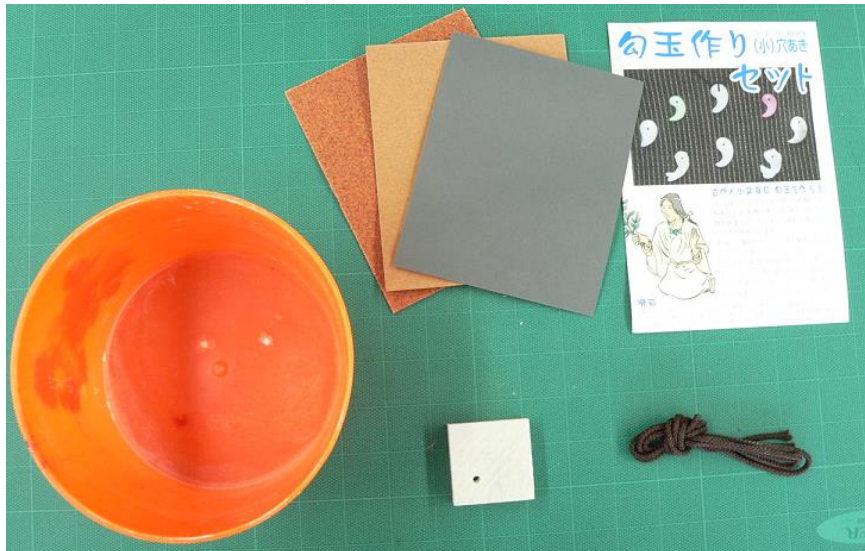
発問例:「出来上がった作品について、頑張ったこと、工夫したことなどを班で発表しましょう。班のメンバーは、友達の作品や、作業中の様子などの、自分が気づいた『ナイスポイント!』を伝えましょう。」

4 SDGsで目指す姿

 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる。</p> <p>自分で作った作品に愛着を持ち、大切に長く使うようになることをとおして、身の回りにあるものも同じように大切に使う姿。</p>
---	---	---

まがたま 勾玉づくり

道具・用具

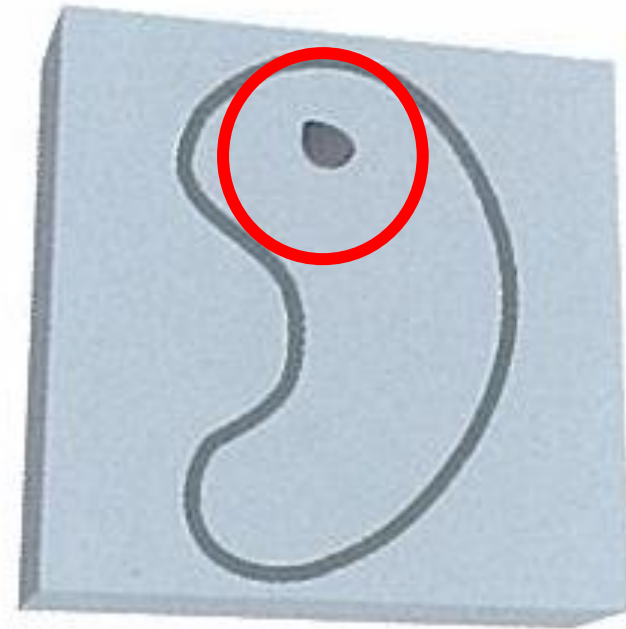


- 糸のこぎり
- 工作用の板

作品例



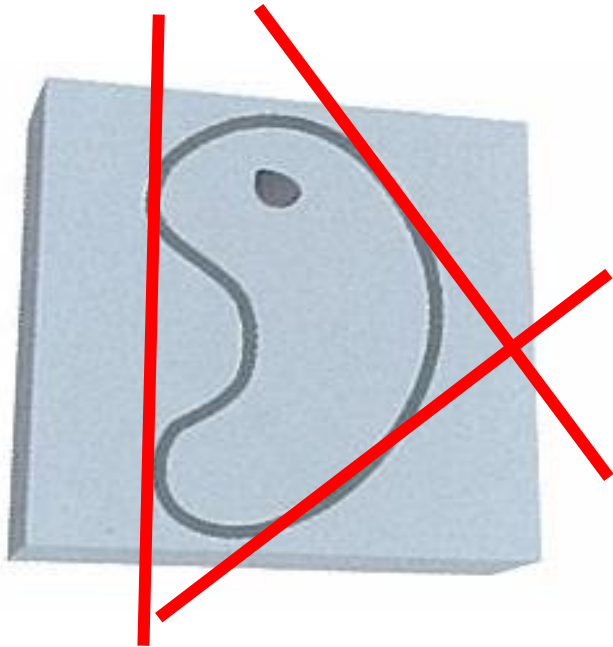
① まがたま かたち えんぴつ かく
勾玉の形を鉛筆で書く。



した が き ちゅうい
【下書きの注意】

- 形は自由。
- できるだけ大きく太く。
- 穴の周りを細くしない。

② よぶん 余分なところを糸のこでいと切る。きる



いと糸のこできる切るところ

- ちよくせん 直線きれないでしか切れないのでちゅうい注意。
- できるだけよはく余白がないほうがよい。

③ あらいかみ 粗い紙やすり (こい濃いちやいろ茶色) でけずる。

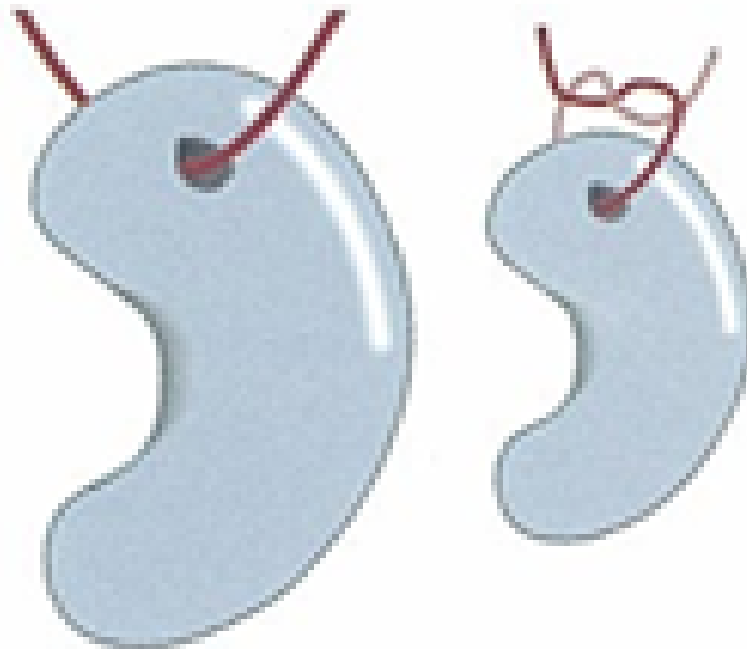
④ こまかい 細かい紙やすり (ちやいろ茶色) で丸みをまるみだす。



⑤ ^{いし} 石に ^{みず} 水をつけながら、^{いちばん} 一番 ^{こま} 細かい ^{いかみ} 紙やすり (^{いろ} **ねずみ色**) で ^み みがいて、^{こうたく} 光沢と ^{だす} つやを出す。



⑥ ^{とおす} ひもを通す。
※ ^{した} 下の ^え 絵のように ^{いちど} 一度 ^{むすぶ} 結ぶと ^{くび} 首にかけ
たときに ^{いし} 石が ^{しょうめん} 正面に ^む 向き ^{ます} ます。



⑦ ^{かたづけ} かたづけ・^{そうじ} そうじ
※ ^{きたとき} 「来た時よりも ^{うつくしく} 美しく。」

大研修室で「勾玉づくり」を実施された団体のみなさまへ

～活動後の環境美化へのご協力をお願いします～

《現状》

- ① 勾玉を「紙やすり」で削る工程でかなりの粉塵が出ます。
- ② それがそのまま床に落ちると、床全体が白くなり、研修室自体が汚れてしまいます。
- ③ また、粉が床に付着したままにしておくと、滑りやすくなり大変危険です。

そこで… 以下の対応（指導）をお願いします。

①作業中

- ◆机に新聞紙を敷きその上で「紙やすり」を使ってください。
- ◆勾玉の粉は、新聞紙の上にためておいてください。
（粉は床に落とさないようにしてください。）
- ◆削り終わったら、粉をこぼさないように新聞紙をたたみ、新聞紙ごとごみ袋に捨ててください。

②作業後

- ◇お渡ししてある雑巾とバケツ、雑巾用モップを使って、大研修室の床を水拭きしてください。
- ◇バケツの水は、大研修室を出てすぐ左にある「洗濯室」の水道又は、宿泊棟入口の洗面所を使ってください。
- ◇清掃後は、雑巾を洗い、バケツの水を捨て、貸し出した工作用の物品と一緒に返却してください。



以上よろしくお願いします。

この用紙も道具類と一緒にご返却ください。